

# 心理学で冤罪を防ぐ

## 司法的判断における認知バイアスの影響

確証バイアスや後知恵バイアスなど人間が思考する際の「くせ」である認知バイアスは、司法的判断においては冤罪を引き起こす可能性が高い。捜査や裁判の場で、捜査員、目撃者、裁判員などの人々がどのような認知バイアスにとらわれやすく、それがどのような結果をもたらすのかに関する心理学的研究を概観し、冤罪につながりかねない人間の認知特性を理解し、その克服方法を模索したい。



企画  
**伊東 裕司**  
 (慶應義塾大学)  
**仲 真紀子**  
 (立命館大学)  
**箱田 裕司**  
 (京都女子大学)

司会・指定等論者  
**仲 真紀子**  
**箱田 裕司**

話題提供者  
**巖島 行雄** (日本大学)  
 目撃者における認知バイアス  
**桐生 正幸** (東洋大学)  
 犯罪捜査における認知バイアスと防止

**伊東 裕司** (慶應義塾大学)  
 裁判員の予断と判断  
**指宿 信** (成城大学)  
 法律学研究者の視点から

2018 **10.13** (土)

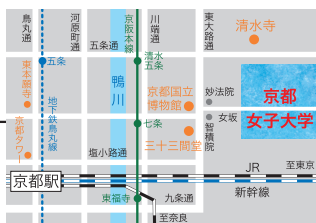
13:30-17:00 定員180名【入場無料】

■京都会場  
**京都女子大学 C号館 C308教室**

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35

▼JR京都駅・四条河原町から京都女子大学までの直通バス「プリンセスライン」「京都女子大学前」で下車

●案内図 <http://www.kyoto-wu.ac.jp/access/index.html>



2018 **11.10** (土)

13:30-17:00 定員250名【入場無料】

■東京会場  
**慶應義塾大学 日吉キャンパス独立館 D205**

〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1

▼東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車、徒歩1分

●案内図 [http://www.hc.keio.ac.jp/ja/hiyoshi\\_campus/guide/](http://www.hc.keio.ac.jp/ja/hiyoshi_campus/guide/)



### 参加申し込み方法

- ◆お申し込みはE-mailで、「件名」に1.希望日、2.シンポジウム名を記入し、「本文」に、1.氏名、フリガナ、2.性別、年齢、3.〒、住所、電話番号、4.日本心理学会会員の方は会員番号、認定心理士の方は認定番号をお知らせください。
- ◆往復はがき、Faxでのお申し込みも受け付けますが、返信用宛名の記入、返信用Fax番号の記入(必須)をお願いいたします。
- ※1.参加希望の方は「必ず」事前にお申し込みください。受付番号をお知らせします。お申し込み多数の際は、ご入場いただけない場合がございます。
- ※2.各シンポジウム、各会場ごとにお申し込みください。複数名でのお申し込みは、全員分の必要事項をお知らせください。
- ※3.お知らせいただいた個人情報は、受付の目的にのみ利用いたします。

